

## 2021年度 教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふり返り（学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。各学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

### 学科・研究科専攻名 情報福祉マネジメント学科

情報福祉マネジメント学科では、カリキュラム・ポリシーに基づき「学びの姿勢ふり返り」として5項目を6件法によって調査し、それらを1～6点に換算して平均値を算出した。また、「ややそう思う」「そう思う」「非常にそう思う」と回答した者の合計（以下、「ややそう思う」以上）、および、「全くそう思わない」と回答した者の全体に対する割合は下記の通りである（回答数：119）。なお、カッコ内は前年度の結果を示している。

その結果、5項目中4項目において、平均値は前年度を上回っている。また、それらの項目は「ややそう思う」以上が60%を上回り、逆に、「全くそう思わない」は2%を下回っている。このことから教育課程の編成・実施の方針に照らした教育の取組みは概ね適切と判断できる。しかし、「ポートフォリオを作成し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理、振り返りに取り組んでいる」については平均点が3.40と2020年度(3.40)から改善していない。特に、「ややそう思う」以上が42.9%と他の項目と比較して低調である。そのため、各ゼミ等において、各人の学修および学生生活の反省を促す働きかけを行い、その上で、それらを記録するように指導を行う必要がある。

1. アクティブラーニングを取り入れた多様な教育科目を受講し、主体的な学びを行っている  
平 均 値 : 4.07 (3.64)  
「ややそう思う」以上 : 76.5% (60.1%)  
「全くそう思わない」 : 0.8% (6.5%)
2. ポートフォリオを作成し、自己の学修成果と学生生活を自分自身で管理、振り返りに取り組んでいる  
平 均 値 : 3.40 (3.40)  
「ややそう思う」以上 : 42.9% (51.0%)  
「全くそう思わない」 : 2.5% (10.3%)
3. ユニバーサルパスポートを活用し、教員の双方向のコミュニケーションを密にすることで学修成果を高めようとしている  
平 均 値 : 4.37 (3.88)  
「ややそう思う」以上 : 86.6% (68.6%)  
「全くそう思わない」 : 0.8% (3.3%)

4. PBL(Project and Problem Based Learning)に取り組み、高度な問題発見・問題解決能力を養っている

平均値 : 3.82 (3.41)  
 「ややそう思う」以上 : 63.0% (50.8%)  
 「全くそう思わない」 : 1.7% (9.3%)

5. 知識・技術の確実な定着のために、講義科目のみでなく、実習科目にも取り組んでいる

平均値 : 4.37 (3.80)  
 「ややそう思う」以上 : 87.4% (67.6%)  
 「全くそう思わない」 : 0.8% (6.0%)

